

2016 年 7 月 1 日 (金曜日)

## アカデミックライティング I 第 11 講

### 主張を根拠で支える

佐渡島沙織・吉野亜矢子著『これから研究を書くひとのためのガイドブック』ひつじ書房、2008 年、pp.36-43

#### 1. 主張を述べる

##### 規定文

学術論文では、何を述べたいのか、何を発見したのか、何を提案したいのかなどの主張を述べなければならない。規定文とは、主張を凝縮した一文である。規定文は、学術論文の中心である。

##### 規定文の重要性

ある論文を読むべきか、読むべきでないかを知りたい時は著者に「この論文では何を主張したいのか」と尋ねるとよい。そして、尋ねられた著者が、一文で答えられなかったならば、その論文は読む価値があるか疑わしい。

##### 学術論文の作法

学術論文では、主張を最初を書く「頭括型」とする。主張の次は、主張を裏付ける論証を行う。学術論文で頭括型とする理由は 2 点ある。第 1 は、読者に主張が伝わり易い。なぜなら、主張が最初に示されると、読者は、主張を意識しながら、論証部分を慎重に読むことができる。第 2 は、主張が明示されることで、書き手自身の思考が整理される。

#### 2. 良い規定文・悪い規定文

悪い規定文は以下の 3 つの特徴を持つ。

1. 論証の手段のない規定文
2. 外的条件により論文完成が困難な規定文
3. 「誰も反論しない」規定文

**問 1** 「知の発展」や「批判的態度」から上記の特徴を持つ規定文がなぜ悪い規定文なのかを答えなさい。

## 2.1 論証の手段のない規定文

批判的態度とは、ある主張が真かどうかを遡って調べ、誰もが正しいと認める方法で調査・検討して得た結果と主張を比較することが重要である。したがって、論証手段のない規定文は論証することが出来ない。論証出来ない理由は、次の 3 つである。①基礎となる概念が定義できない、②測定が不可能である。そして、③擬似相関関係である。

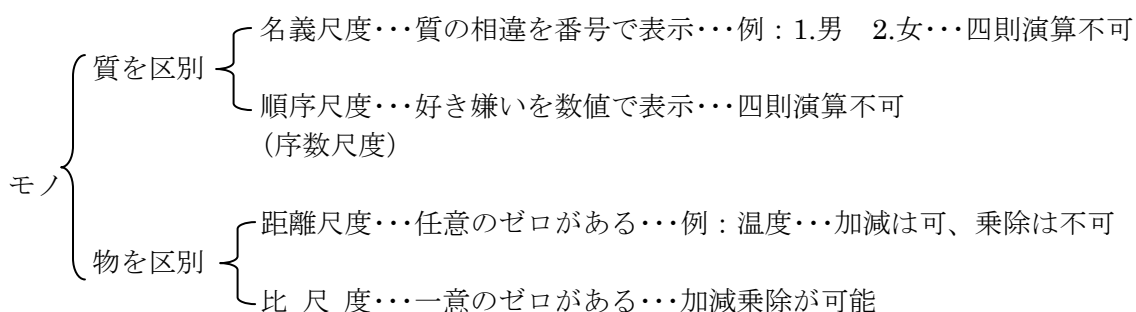
### (1) 基礎となる概念が定義できない。

例えば、「日本人は農耕民族だから協調心に富んでいる」、「日本人は農耕民族だから土地への愛着心が強く、そのため地価は下がらない」の“農耕民族”のように、基礎となる概念が定義出来ない場合は論証ができない。

**問** 「沖縄県民の優しい県民性とホスピタリティ産業」をテーマに選んだ場合、どのような概念規定が必要かを考えなさい。

### (2) 測定が不可能である。

例えば、「夫への愛情が深い妻ほど品数の多い夕食を用意する」の“夫への愛情”のように厳密な尺度がなく、他との比較ができない場合は論証できない。測定をかろうとするためには、次のような尺度が必要となる。



### (3) 擬似相関関係にある。

例えば、「母乳で育った子供は犯罪を犯す確率が低い」のように他に真の原因がある場合には論証できない。

## 因果関係とは

- ① 2つの変数  $x$  と  $y$  とがある。
- ②  $x$  が変化すればそれに応じて  $y$  も変化する。
- ③  $x$  が不変ならば  $y$  も不変である。

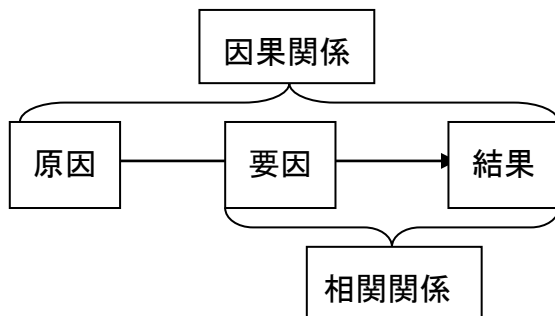
以上 3 つの関係が認められる場合、これらの間に  $x$  を原因とし  $y$  を結果とする因果関係があるという。

## 相関関係とは

因果関係のうち、①と②の条件は確認できるが、③の条件「 $x$  が不変ならば  $y$  も不変である」が認められない場合、 $x$  を要因、 $y$  を結果とする相関関係にあるという。相関関係の例としては、胃がんと食塩などがある。

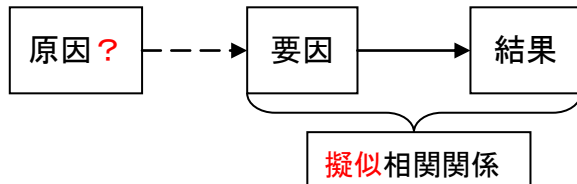
### 因果関係と相関関係

因果関係も、相関関係も同じ原因から結果が生じている。たとえば、インフルエンザならば、原因はインフルエンザウイルス、要因はインフルエンザウイルスへの抵抗力を強化する体力の向上（適切な運動、規則正しい生活など）・抵抗力を弱める様な体力の低下（夜更かし、加齢、栄養不良など）、結果はインフルエンザウイルスの諸症状（発熱、悪寒、関節痛）である。つまり、要因は、原因と結果を強めたり、弱めたりしている。



### 擬似相関関係とは

擬似相関関係では、原因が不明で、相関関係のような現象である。たとえば、銀行が多い地域にはレストランが多い、などである。この事例の原因は、「人が多く集まる」が原因である。またただし、原因が特定されると、擬似相関関係ではなくなることに注意しなければならない。



問 「母乳で育った子供は犯罪を犯す確率が低い」を因果関係と相関関係から考えてみよう。

## 2.2 何らかの条件により論文完成が困難な規定文

論文は、主張を何らかの根拠やデータで裏付けする必要がある。時間、費用、資料などの制限で主張を裏付けることができない規定文は、たとえ正しい内容であっても論文として選定してはいけない。

## 2.3 「誰も反論しない」規定文

知の発展は他者から評価されなければ発展しない。評価とは主張の内容について多角的に検証下にもかかわらず、不完全性があり、それを他者から正してもらうことにある。したがって、誰からも反論されないような主張や既に他の人に発表されている研究と全く同じ規定文も論文の規定文にはならない。

問 誰も反論しない規定文を作成してみる。

p.39

### 3.根拠を述べる

主張は根拠で支える必要がある。

#### 3.1 <論拠>主張と根拠をつなぐ糸

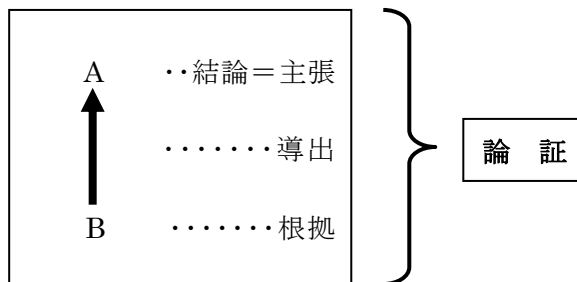


図 論証の構造

#### 3.2 適切な論証

適切な論証とは、適切な根拠から適切な導出によって結論が導かれていることである。主張と根拠は、主張を誰にでも納得できるように、できるかぎり飛躍のない形で、なぜそのような結論に到達したのか。それをまだ結論に到達していない人に向かって説明しなければならない。

以下の会話でいずれも同じ構造の文章である。「おかしい」会話はどれか、また、その理由は何を考えたか。

##### 会話 1

A さんの主張「今日はお風呂に入らないほうがいいよ」

A さんの根拠「だって、君は風邪をひいているじゃない」

風邪を引いている人がお風呂に入ると湯冷めして風邪が悪化する可能性が高い。

B さんは風邪が悪化させたくないと考えている。

そうするとお風呂に入るべきではない。

##### 会話 2

A さんの主張「明日は雨が降るよ」

A さんの根拠「だって、さっき猫が耳の裏をこすっていたからね」

猫が耳の裏をこすると昔から雨が降るといふ言い伝えがある。

##### 会話 3

A さんの主張「あ、そのベンチ、座らないほうがいいよ」

A さんの根拠「だって、さっきペンキを塗りおえたばかりだから」

ペンキを塗りおえたばかりのベンチはまだペンキが乾いていない。

乾いていないペンキは服に付着する。

B さんはペンキが服に付着することが嫌だと考えている。

だとしたならば B さんはペンキの塗り立てのベンチに座らないほうが望ましい。

テキストでは、A さんが、会話 1 では「今日はお風呂に入らないほうがいいよ」、会話 2 では「明日は雨が降るよ」、そして会話 3 では「あ、そのベンチ、座らないほうがいいよ」

と主張を述べている。

### 3.3 根拠の妥当性をチェックする

どのような根拠が望ましいかについては、主張の対象者、テキストの例では B さんが理解出来るような根拠が望ましい。例としては、①「ピタゴラスの定理」などのすでに証明済みの定理、②科学的な証拠（仮説であり誤りがある）、③正確な統計データ（仮説であり誤りがある）、④権威者の主張や考え（仮説であり誤りがある）などである。

根拠として望ましくない例は、①「日本人は農耕民族だから協調心がある」などの基礎概念が不明確で定義出来ない根拠、②測定が出来ない根拠、③擬似相関性が高い根拠、④「AKB48 が好き」、「パヒュームが好き」などのように個人の嗜好を用いた根拠、⑤自分の経験や一部のデータが全てに当てはめるような根拠などである。

#### 練習問題

以下の文章の主張と根拠の関係にどのような問題があるかを述べなさい。

①最近では基本的な礼儀がなっていない子供が増えているようだ。朝、道を歩いていて近所の子供に「おはようございます」と挨拶されることがめっきり減った。

#### 解答

主張は、子供が基本的な礼儀ができていない。根拠は、挨拶される機会の減少である。根拠としては正しくない。理由は、自分の体験を敷衍している。

② 基本的な生活習慣のなっていない小学生が多いのだそうだ。きっと塾通いばかりしているせいだろう。

#### 解答

主張は、生活習慣ができていない。根拠は、塾通いの増加→夜遅くまで勉強→朝起きることができない。生活習慣の定義が明確ではない。また、擬似相関関係である。

③ 少子化は現在、日本が対面している最も大きな問題の一つです。この大問題の解決に向けて、我が県では大お見合いパーティを開催することにしました。これで解決への一歩を踏み出せたはずです。

#### 解答

主張は、少子化の解決である。根拠は男女の出会いの場の減少である。少子化の原因が不明確であるため、擬似相関関係である。

④ 大学生の学力低下は年々深刻化の一途をたどっている。アンケートによると、なんと 6 割を超える大学教員が、自分の学生時代と比べ、現在の学生の学力は低いと思う、と答えたそうだ。

#### 解答

主張は、学力低下である。根拠は、大学教員へのアンケートである。この論証の課題は、学力の定義が明確でないことである。大学教員も年齢差があり、年齢によっては学力のとらえ方が異なる可能性がある。

⑤ 日本の子供の学力低下を食い止めるため、学校は週 5 日制を即座にやめるべきである。学力低下が始まったのは週 5 日制が導入されてからなのだから。

#### 解答

主張は、子供の学力低下の原因が学校は週 5 日制にあるということである。擬似相関関

係になる。

⑦ 彼女はあまりしつけの厳しい家の出ではなさそうだ。食事をするとき食器に手が添えられていなかったから。

**解答**

主張は、彼女のしつけが悪いである。根拠は、食事の作法である。“しつけ”の定義が曖昧である。文化の違いがあるのかもしれない。

⑧ 暴力や殺人が当たり前のように出てくるコンピュータ・ゲームが多く売られている。子供たちの未来が心配である。

**解答**

主張は、暴力や殺人のコンピュータ・ゲームによって子供たちが感化され、将来、暴力的になる可能性があるということである。擬似相関関係にある。

⑨ 水に言葉をかけると、その言葉に応じて水の結晶が形を変えのだという。「ありがとう」なら雪のような樹枝状結晶になり、「ばかやろう」なら樹枝状にならない。(引用：菊池誠「擬似科学の現在」『科学』岩波書店 2006年9月号)

**解答**

主張は、言葉によって雪の結晶が変わるということである。擬似相関関係である。また、科学的には誤りである。しかしながら、この文章は、「言葉遣いの荒い人は、行動も荒くなる」という経験や道徳の考え方に基づいている。

⑩ 米航空宇宙局 NASA が UFO (Unidentified Flying Object) を発見したとの報道があった。きっと宇宙人がやって来たにちがいない。

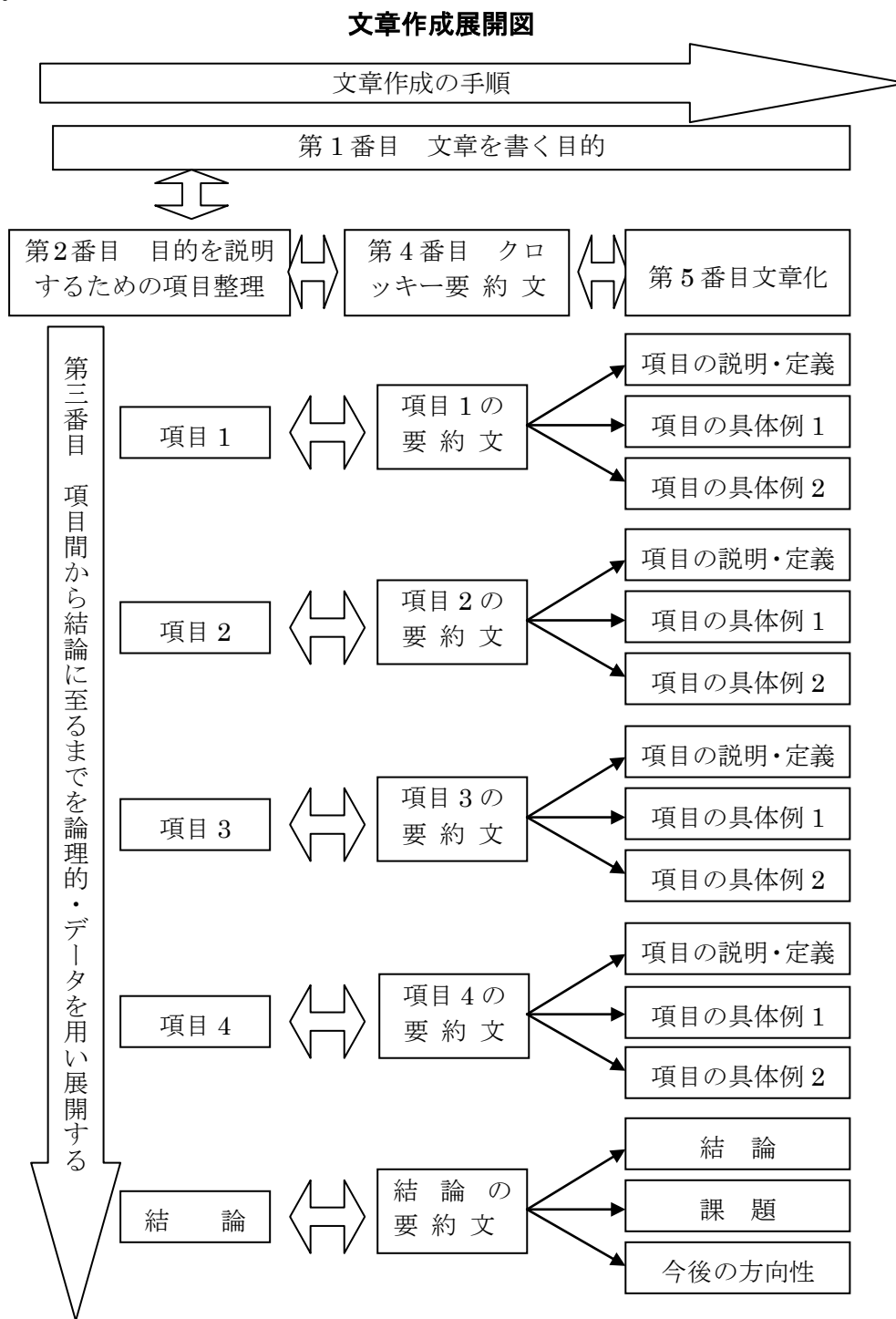
**解答**

主張は、宇宙人がやってきたということである。根拠は、NASA という権威ある機関が UFO を発見したことである。UFO=宇宙人の乗り物とは限らない。

**チェックリスト**

- 自分の書いた文章の主張（規定文）は文章上部にある。
- 規定文は証明あるいは説得が可能である。
- 規定文は論じるに値するものである。
- 規定文は与えられた時間と文章量で論じきれるものである。
- 規定文は論拠で支えられている。
- 根拠は妥当なものである。

**復習** これまでの学習、「マップ」と「パラグラフ」は下図のどこに位置しているかを述べなさい。



資料：宮平が作成した。

## <参照>

野矢茂樹は『論理トレーニング―新版―』産業図書、2006年、pp.61-64で根拠について述べている。以下は、野矢の内容を宮平がまとめた根拠に関する記述である。

### 根拠の適切さ

根拠となる主張は、3つに区分される。すなわち、

- ① 意味規定
- ② 事実認識
- ③ 価値評価

である。

#### (1) 意味規定

意味規定とは、論証を行う主張、すなわち、規定文に意味づけを行うことである。規定文への意味づけは、一般的・客観的によるものなのか、あるいは、主張者独自によるものなのかによって、2分類される。

第一は、意味づけをおこなう場合、辞書などを用いて他者との共通性から意味づけを行う一般的意味規定である。

第二は、主張者が独自に、一義的に行う場合、あるいは、辞書的規定に代わる一般的意味規定を提案することである。

#### (a) 一般的意味規定

一般的意味規定とは、一般に認められている意味規定を辞書的に確認したうえで、根拠の意味規定を行う方法である(例 4)。

**例 4** 手続き法とは、実体法を維持し、実現するための手続きを定めた法である。

#### (b) 独自の意味規定

独自の意味規定とは、主張者が独自に意味規定を行う方法である。①限定的意味規定と②言い換えの意味規定の二つの方法がある。

#### (b-1) 限定的意味規定

限定的意味規定とは、主張者が独自にある論述に限定して一時的に意味規定を行う方法である(例 5)。

**例 5** ここで、「自然科学」の内には数学は含めないこととする。

#### (b-2) 言い換え意味規定

言い換え意味規定とは、一般に考えられている辞書的規定(一般的意味規定)に代わる一般の意味規定を提案する方法である(例 6)。

**例 6** 「論理的」とは、実は、正しい言葉を使用していることにはかならないのである。

### 意味規定の評価基準

先述のように、意味規定のタイプに応じて、意味規定の適切さの評価方法が変わってくる。たとえば、例 4 のような一般的意味規定では、根拠となる言葉の適切さを辞書などに



よって調べることが評価の方法となる。

例 5 の限定的意味規定においては、規定文は、あくまでも該当する論述の中に限定されている。したがって、評価の基準としては、読み手は、主張者の定義にしたがい論述が首尾一貫しているかどうか、論理矛盾はないかを調べることになる。

例 6 の言い換え意味規定では、限定性を超え、一般的意味規定を置き換えが提案されている。そのため、読者は、この置き換えを認めるかどうかについて、置き換えられた意味規定が、一般的意味規定よりも説明性、抽象性、普遍性、予見性があるかどうかの観点から認めるかどうかを判断しなければならない。

根拠となる主張は、3つに区分される。すなわち、

- ① 意味規定
- ② 事実認識
- ③ 価値評価

次に事実認識に基づく論証の評価を行う。

## (2) 事実認識

事実に関わる主張は、大きく分けて次の 2 つに分類される。①個別的主張、②一般的主張である。

### (a) 個別的主張

個別的主張とは、それぞれの根拠が単独の主張から形成される場合をいう(例 7)。

例 7 小説の『墮落論』を書いたのは坂口安吾である。

### (b) 一般的主張

一般的主張は、次の 2 つに分類される。①根拠となる主張が、いくつかの個別事例を一般化、もしくは法則化した「一般化ないし法則の主張」(例 8 と例 9)、②個人的な考えや推測を述べる「存在の主張」(例 10 と例 11)である。

#### (b-1) 一般化ないし法則の主張

例 8 フランス人は、海藻を食べない。

例 9 冬期に暖かい部屋から急に寒いところへ出ると一時的に血圧が上がる。

#### (b-2) 存在の主張

例 10 この山のどこかに徳川埋蔵金がある。

例 11 ホメロスの叙事詩に登場するトロイの木馬は存在する。

## 事実認識の評価基準

個別的主張の場合の評価基準は、文献等でその主張が正しいことを証明すればよい。

一般化ないし法則の主張の評価は、例 8 は、フランス人についての一般化、例 9 は、生体の法則の主張である。一般化ないし法則の主張にたいする評価としては、反例の有無、および例外性である。

たとえば、例 8 の「フランス人は、海藻を食べない」に対しては、海藻を食べるフラン

ス人の存在であり、また、海藻を食べるフランス人がいて、統計的に例外的ではないことが評価の基準となる。例 9 についても、暖かい部屋から急に寒い場所へ出てが、血圧上昇が見られない場合である。

存在の主張の場合、例 10 のように実際に埋蔵金が発見されれば主張は正当化されるが、反論を試みた場合、山中をくまなく探してもなお見つからないということで反例を示すことができる。

いずれの例の反例においても、事実認識に基づく根拠から論証の正しさを調べるためには、実際に事実調査を行う必要がある。しかしながら、まさに議論を行っている場合、事実調査を行っている時間はない。そこで、暫定処置が必要となる。

### 事実認識の暫定処置

疑わしい主張に関しては、その主張の情報源を尋ねることが有効となる。たとえば、素長が目撃による主張、伝聞による主張なのかである。また、伝聞による主張の場合は、伝聞の情報源を明確にし、かつ、その伝聞が権威に認められるかどうか確認する。ただし、重要な論証の場合には、自らで事実確認や調査を行う必要がある。

### (3) 価値評価

根拠となる主張は、3 つに区分される。すなわち、

- ① 意味規定
- ② 事実認識
- ③ 価値評価

次に価値評価の根拠に基づく主張の評価を行う。

価値とは、何事かの善し悪し、あるべき姿、立ち振る舞い、あるいは、行うべき義務などを述べることである。価値評価についての評価には、大分類では次の二つである。すなわち、①「よさ」の価値評価、②あることをなすべきかどうかという規範の価値評価である。

#### (a) 「よさ」の価値評価

「よさ」の価値評価とは、あるものの「よさ」について考えを述べることをいう(例 12)。

例 12 この本はとてもいい本だ。

#### (b) 規範の価値評価

規範の価値評価とは、ある主張を行う際、ただ漫然と主張行うのではなく、相手に対して推薦、助言、指導、諭旨、義務などの意義を付加し述べることである(例 13)。

例 13 この本は是非読むべきだ。

### 価値評価と根拠

価値評価の主張が根拠として機能するためには、主張者の価値・規範が論証相手と共有されていなければならない。

### **価値・規範の共有の暗黙的前提と論証**

主張者が、論証相手と共有されていると考えた価値・規範は、明示的に述べられていることがない場合がある。そのため、主張者は、論証相手と価値・規範が了解された暗黙の前提で論証を行うことになる。したがって、暗黙の了解で了承が行われている時は、暗黙の前提となっている価値・規範を表立たせて検討することが必要となる。

### **価値・規範が異なる相手との論証**

論証相手が、主張者と異なる価値・規範であっても、主張者が、一方的に論証相手の価値・規範を否定することはできない。そのため、価値評価に関わる論証相手の主張が、根拠として適切でないことを示すためには、論証相手の評価が独断的であり、論証相手の否定した価値・規範の方がむしろ説得力があることを示す手続きを行う。そのため、事実の論証よりも、より間接的な論証となる。